

ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー対応表（博士前/後期課程）

			博士前期課程				博士後期課程		
			(コア科目)	(アドバンス科目)	セミナー科目	研究活動	専門科目	セミナー科目	研究活動
カリキュラム・ポリシー									
ディプロマ・ポリシー	【モチベーション】	(1) 修了生は、豊かな人間性を持つ。				✓			✓
		(2) 修了生は、豊かな創造性と高い倫理観を備えている。				✓	✓		✓
		(3) 修了生は、先駆者（バイオニア）精神を発揮できる。				✓	✓		✓
		(4) 修了生は、主体的・継続的に学習する能力を持つとともに、最先端技術の発展動向・状況を把握する能力を持つ。	✓	✓		✓	✓		✓
		(5) 修了生は、異なった価値観や伝統や制度を持った異文化に関して深い認識とそれに基づいた異文化コミュニケーションへの積極性を持つ。				✓			✓
	【コンピテンシー】	(6) 修了生は、専門的・実務的教養を幅広く身につけている。	✓	✓		✓	✓		✓
		(7) 修了生は、科学的思考力及び課題設定能力と解決法の立案能力を持つ。	✓	✓		✓	✓		✓
		(8) 修了生は、コンピュータ理工学の基礎から応用に至る専門知識と技術を持つ。	✓	✓		✓	✓		✓
		(9) 修了生は、豊かなコミュニケーション能力に基づいて、主体性を持ってチームの一員またはリーダーとして働く能力を持つ。			✓	✓		✓	✓
	【スキル】	(10) 修了生は、自らの思考・判断を説明するためのプレゼンテーション能力、ならびに、豊富な発表経験に裏付けされた他者への情報発信能力を持つ。			✓	✓		✓	✓
		(11) 修了生は、多様なセミナー科目の学習を通じて、研究・開発力、議論・討論力、チームでプロジェクトを推進する能力を持つ。			✓	✓		✓	✓
		(12) 修了生は、英語によるコンピュータ理工学の科目履修と修士論文の修得経験に基づいた専門的職務の遂行力を持ち、グローバル社会で活躍できる。	✓	✓		✓	✓		✓
		(13) 修了生は、修得した知識・技術により地域社会及び国際社会の産業と文化の発展に寄与できる実践力及び難しい課題への挑戦力を持つ。				✓			✓
		(14) 修了生は、コンピュータ・サイエンティスト又はコンピュータ・エンジニアとして活躍できる基礎力と応用力を兼ね備え、プロジェクトチームリーダーとして活躍できるとともに、ICT産業に関わる実用的な問題を実際に解決する経験を踏まえ、社会で実践することができる。	✓	✓		✓	✓		✓

以下は博士後期課程のみ

(博士後期課程のみ)	【モチベーション】	(1) 修了生は、先駆者（バイオニア）精神を発揮し、技術イノベーションへのチャレンジ精神と意識を持つ。						✓	✓
		(2) 修了生は、研究分野の動向・状況把握力、課題発見力と問題解決能力などの優れた研究・開発能力を持つ。					✓		✓
	【スキル】	(3) 修了生は、仮説検証力、ソリューションの創出力、実装と実験能力、及び、研究成果をまとめ学術論文を発表し、世の中に貢献する能力を持つ。						✓	✓
		(4) 修了生は、研究のオリジナリティと応用可能性に関する説明力と質問力・応答力・ディベート力を含む、クリティカルシンキングの能力を持つ。						✓	✓
		(5) 修了生は、ICT分野における研究の新しい領域の開発力、新しいプロジェクトの企画力及び推進力を持つ。						✓	✓

*「研究活動」は学修及び学生生活の主要部分となる研究活動を指す。

博士前期課程において、CIS専攻では「研究科目」、PM専攻では「ソフトウェア開発アーナ」が該当。